

くいあらためと きぼう

哀歌3:1~5 私^{わたし}は主^{しゅ}の激^{げき}しい怒^{いか}りのむち^{むち}を受けて^う悩^{なや}みに会^あった者^{もの}。主^{しゅ}は私^{わたし}を連れ去^つって、光^{ひかり}のないやみ^{やみ}を歩^{あゆ}ませ、御手^{みて}をもって一日中^{いちにちじゅう}、くり返^{かえ}して私^{わたし}を攻^せめた。主^{しゅ}は私^{わたし}の肉^{にく}と皮^{かわ}とをすり減^へらし、骨^{ほね}を砕^{くだ}き、苦味^{にがみ}と苦難^{くなん}で私^{わたし}を取り困^こんだ。

3か

1. 救^{すく}い観^{かん}について話^{はな}してみましよう

- 1) 信^{しん}仰^{こう}によって救^{すく}われると主^{しゅ}張^{ちやう}します
- 2) 行^{おこな}いによって救^{すく}われると主^{しゅ}張^{ちやう}します
- 3) 霊^{れい}的^{てき}体^{たい}験^{けん}で救^{すく}われると主^{しゅ}張^{ちやう}します

2. 福^{ふく}音^{いん}を離^{はな}れた者^{もの}の結果^{けっか}でした

- 1) 肉^{にく}、皮^{かわ}、骨^{ほね}が砕^{くだ}れました (哀歌3:4)
- 2) ずっと前^{まえ}に死^しんだ者^{もの}のようでした (哀歌3:6)
- 3) 一日中^{いちにちじゅう}あざけりの歌^{うた}となりました (哀歌3:14)

3. 神^{かみ}の子^こどもであるRemnantは、3つ^{ただ}を正^{ただ}しく理^り解^{かい}しなければなりません

- 1) 福^{ふく}音^{いん}を正^{ただ}しく理^り解^{かい}しなければなりません
- 2) 祈^{いの}りを正^{ただ}しく理^り解^{かい}しなければなりません
- 3) 伝^{でん}道^{どう}を正^{ただ}しく理^り解^{かい}しなければなりません

✿ タイトル:

✿ せいしよかしよ:

✿ メッセージ:

✿ いのりの かだい (じっせんする こと):



